

長浜市雪寒体制のあり方懇話会 第2回 要点録

1. 日 時 平成29年1月11日(水) 14時30分～16時30分終了
2. 場 所 多目的ルーム1
3. 出席者 立命館大学 特任教授 塚口 博司氏
神前栄自治会長 中澤 芳一氏
野瀬町自治会長 森川 吟英氏
木之本町川合自治会長 山内 昌達氏
長浜市民生委員児童委員協議会 理事 東野 了氏
社会福祉法人長浜市社会福祉協議会 副参事 藤元 法子氏
長浜地区交通安全協会 副会長 國友 隆房氏
伊香交通安全協会 副会長 田中 俊之氏
滋賀県建設業協会長浜支部長 森 善昭氏
滋賀県建設業協会伊香支部長 湯本 聡氏
長浜市都市建設部長 今井 克美氏
長浜市北部振興局長 山田 昌宏氏 以上12名
(その他 事務局9名)
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 3名
6. 取 材 なし
7. 内 容
 - (1) 開会のあいさつ(資料の確認等)
栢割道路河川課長、塚口座長より開会の挨拶を行った。
 - (2) 会議の公開について
協議の結果、会議を公開とすることが決定した。
 - (3) 自治会向けの除雪支援制度(補助)について
事務局上記(3)について事務局説明を行った。
質疑等については以下のとおり

【委員】 補助制度を導入された時期について教えてほしい。
(事務局) 補助制度は合併以前からあったもので、最近導入した制度ではない。

【委員】 手続きの煩雑さはある程度仕方がない。最近はパソコン等で書類作成が容易になっているので、煩雑さの軽減には努めてもらいたい。
補助制度の利用が少ないのは補助率に問題があるのではないか。
(事務局) 手続きについてはメールで様式を送付する等で省力化につながると感じた。

補助率について本日は回答できない。本日は、持続可能な除雪体制について提案してもらう機会として意見を共有させていただく。

【委員】 補助金を市内一律150万円としたことは妥当と思う。機械購入後の維持管理が大変なため考慮いただきたい。

【委員】 手続きの煩雑さは、税金を分配しているため資料作成はある程度仕方がない。補助金利用制限が10年/回であるが、地域によって稼働状況が異なるため、制限の傾斜を付ける方法もあると思う。

【座長】 地域の特性について発言いただいた。事務局は、発言内容を念頭に置いて進めてもらいたい。

【委員】 平成27年度の地域除雪作業委託件数124件は、どの程度の自治会から申請された件数なのか。利用回数によって手間が異なると思うが。

(事務局) 自治会からの申請件数のため124自治会となる。申請いただく書類は同じだが、利用回数によって実績報告の書類が増えることになる。

【座長】 「協議」から「補助金交付」までの実施時期はどうなっているのか。

(事務局) 8~9月に「協議」「内定」を行い、10月に計画を出す。雪寒期間が終了する3月末~4月に「実績報告」いただいている。

【委員】 補助金で各自治会が購入した機械のメンテナンスや保険等のチェック体制がどうなっているのか。委託時の契約事項に盛り込むべきではないか。

簡易な消雪設備の導入は今後の課題である。

【座長】 メンテナンスや保険、契約時のサポート等について事務局の考えはどうか。

(事務局) 安全対策については委員指摘のとおり、実施されていること前提で進めている。現状は、万が一を想定したアナウンスの周知が徹底されていなかった。

(4) GPSを用いた除雪車両管理システムについて

事務局上記(4)について事務局説明を行った(本格導入したシステムにてデモンストレーションを行う。)

質疑等については以下のとおり

【座長】 このシステムを導入したことで、除雪作業の効率化にどう結びつくのか。

(事務局) これまで、職員の現場パトロールにより除雪車の現在地を把握することで、住民からの問合せに対応してきた。システムを導入したことで、リアルタイムな情報提供ができる他、データを蓄積することで、将来的に除雪の効率化ができると考えている。

【委員】 除雪路線はインターネット等で公表しないのか。

(事務局) 現在は、カウンターでの閲覧のみとなっており、配布等は行っていない。インターネットによる公表については、今後の課題である。

【委員】 システムにライブカメラの情報を載せられないか。

(事務局) このシステムには、ライブカメラの情報を掲載する機能はない。ライブカメラは国県道にある程度の地域で配置されており、これらが十分に参考になる。

(5) 市が作成を検討している雪寒対策計画の概要について

事務局上記(5)について事務局説明を行った。

質疑等については以下のとおり

【委員】 高齢者への支援を考えると道路河川課だけではなく、他の課と連携しながら進めるべきではないか。

【委員】 大きな道路は除雪されているが、軒先は残っており、高齢者がどけるのは難しい。地域の支援が必要だが、自治会によっては行政からの援助がないと困難な場合がある。

(事務局) 道路除雪に関することが基本だが、道路に面した場所の除雪についても今後考える必要があり、庁内でも連携して考えていきたい。

【委員】 他市では、要望があればオペレータ付きの機械貸出しを行うことも行っている。なぜ、こんなことが実行できるのか。

(事務局) 費用的なことも含め、全体としてどうするのか考える必要がある。今回作成する計画は、基本は道路であるが、沿道についても考慮し、どういった仕組みが可能かを皆様と一緒に考えていきたい。

【委員】 ひとつの行政として公平・公正の視点はあるが、北部地域と南部地域で様相が大きく異なることに配慮いただきたい。

【座長】 長浜市は合併で市域が広がったので、市の特徴を十分に考えた計画づくりが必要であり、この会の腕の見せどころである。

【委員】 除雪はしっかりやってくれているが、排雪する場所がない。

通学路でも歩道の除雪が最後になっており、児童は車道を歩いている。交通安全の観点では歩道確保について考えてもらいたい。

【座長】 基本方針として「期間中の安全な交通環境の確保」が最初に記載されている。それなりの思いがあつてのことと考える。

【委員】 県から市の防災計画を北部と南部で分けることで、地方気象台の天気予報を北部と南部で分けて出せるとのことだが、対応できないか。

(事務局) 今は情報を持ち合わせていないので確認する。

【委員】 ブロック単位での除雪会議の実施を要望したい。

【委員】 除雪だけではなく、排雪についても考えてもらいたい。

【座長】 今後の課題についてたくさん意見をいただいた。事務局は「できること」と「できないこと」を見極めたうえで、要望について配慮いただきたい。

本日は、雪寒対策計画の目次であったが、次は骨子あるいは素案へと発展すると思うので、事務局にはよろしくお願ひしたい。

(6) その他

事務局より次回のあり方懇話会を4月下旬に予定していること、議題は検討中であることについて周知を行った。

以上

(終了：16時30分)